

G-7 名誉会長 財団設立

奨学財団を設立したG-7
ホールディングスの木下守名誉会長
神戸市須磨区弥栄台5



カー用品販売の「オートバックス」などをフランチャイズ展開するG-7ホールディングス（HD）、神戸市須磨区）の創業者、木下守名誉会長（77）がこのほど、公益財団法人「G-7奨学財団」を設立した。人材の育成が目的で、新たなビジネスや技

所有株を寄贈 バイオやIT、スポーツ分野助成へ

術開発、スポーツ分野で活躍が期待される若者らを支援する。

同財団は昨年6月に一般財団法人として設立したが、今年4月、内閣府から公益認定を受けた。木下名誉会長が個人で所有するG-7HDの株約183万株を同財団に寄贈し、年間配当約8千万円を毎年の助成金にする。

事業内容は、学生への返済義務のない給付型奨学金の支給（1件当たり上限120万円）▽バイオやIT分野などの研究開発に対する助成（同300万円）▽スポーツ分野で今後の活躍が期待される個人や団体への助成（同200万円）の三つ。

本年度は、研究開発とスポーツ活動への助成に関し、すでに選考を終了。奨学金の助成は現在も募集を受け付けている。木下名誉会長は「日本の国力が低下しつつある中、優秀な人材が生かされていない。（同財団の事業で）日本の経済、医療、スポーツ界の発展に少しでも貢献したい」としている。（三島大一郎）

